

令和4年度第1回代表幹事会議事録

【日 時】 令和4年(2021年)8月27日(土) 13:00 ~ 15:00

【場 所】 Zoom 会議

【出席者】 役員：久保田会長、三澤幹事長兼副会長、小松副会長、太田副会長、衣袋副会長、百瀬副会長
代表幹事：戸田広報委員長、森本総会指導委員長、濱田 HP 管理委員長、松沢第55回実行委員長
二木6年委員会委員長、
松澤事務局長、佐藤事務局次長、小林前会計委員長、荒木参与、小岩井第56回実行委員長

計 16 名参加

議事進行：運営細則第5条総務委員会第1項に基づき、百瀬総務委員長兼幹事長補佐が第一回代表幹事会議題にそって議事進行を行った。

1. 久保田会長の挨拶

- ・ 皆さん今日はお集まり頂きありがとうございました。
- ・ Zoom でしか会議が出来ないのが残念ですが、救急車で運ばれる方の 1/3 が無症状の感染者だと言われています。これは、世の中の 1/3 は自分がコロナに感染していると知らずに外出していることとなります。皆さんの身近な方の中にも陽性になったり濃厚接触者になったりする方がいると思います。引き続き十分にご注意いただきたいと思います。
- ・ これから森本さんに第55回総会・懇親会の総括報告をして頂きます。とても丁寧に作られた報告書を有難うございます。高44回の実行委員会の皆さんにはコロナ禍の中、開催して頂き、無事に終了したことに感謝します。有難うございました。
- ・ 高43回の濱田さんにもお手伝い頂き有難うございます。
- ・ 太田さん、100周年記念事業の骨子案を作成して頂き有難うございます。今まで漠然としていたものの道筋が見えてきた気がします。振り返って思い出に残るような100周年に出来れば良いと考えています。そのためには、役員だけでなく幹事の皆さん全員のご協力が必要だと考えますので宜しくお願い致します。

2. 総会指導委員会（森本総会指導委員長）より

(1) 第55回総会・懇親会総括、会計仮報告

(森本総会指導委員長が添付資料 1-1, 1-2, 1-3, 1-4 に基づき報告)

- ・ 高45回への引継会は、8月7日(日)に実施
- ・ 高44回の実質的なキックオフは年初だったが、もう少し早く始めた方が良かった。
- ・ 実行委員会で管理している備品については、今後、レンタル倉庫使用などの検討が必要。
- ・ 広報・周知について、HPをより身近なものにしていきたい。
- ・ 収支(決算)は9月末に寄付を締切るのでその時点で確定する。20名から有難い寄付があり、グッズの売り上げも有ったので、結果として黒字は確保できそう。

(質疑応答)

(二木)ほとんどの世代は、引継会があって初めて翌年の幹事を意識するので、年単位でどのようなスケジュールで進めて良いのかが分からない。今回、高45回はスケジュール表(添付資料1-5参照)を作成してみた。今後、これを充実させていって、次の引継会で使用したい。

(小岩井第56回総会懇親会実行委員長)来年の実行委員長を行う事となった。来年は100周年でもあるので、肩肘張らずに楽しく同期とやっていきたい。二木さんの話もあったが、これからのことも考えつつ、上手く後輩に引き継ぐことも大事だと思う。出来るだけ負担がないようにこの会が続けていけるようにしたい。分からないこともたくさんあるので、先輩方のご協力を頂きたい。

→(百瀬)自分達だけで抱え込まず、幹事会のメンバーを巻き込んで進めて頂きたい。

(久保田)毎年行われることなので何気なく過ごしていることが、初めて体験する人にはハードルが高いことが多いことが分かった。霧の中からスタートするのではなく、二木さんが作ってくれたスケジュール表などを活用していくことを考えて頂きたい。

→(森本)了解です。

(三澤)森本さん、松沢さん、有難うございました。松本からの来賓もなしでビデオメッセージを作ってもらったが、新しいやり方を毎年工夫していくことでプラスになった良い結果だったと思います。小岩井さんにも両肩に力を入れず、同期の30年振りの楽しい思い出を作るように取り組んで欲しい。今回、多くの寄付を頂いて収支に寄与した。寄付して頂いた方で、当日欠席した松沢さんから当日のパンフレットは無いかと聞かれたので、出席者名簿とか一式をお送りした。寄付への御礼として同様のものを送ってもらえると有難い。

※ 質疑応答の結果、全会一致で承認された。

(2) 創立100周年記念事業の取組について

(太田100周年記念事業委員長が添付資料2に基づき報告)

- ・ 東京同窓会として、松本を中心に展開する記念事業全体の推進を支援するとともに、東京に暮らす同窓生の祝賀機運を高められるような活動を展開したい。主な企画は以下の通り。
 - ① 本部同窓会への寄付：20万円 および祝賀会への動員要請に応える
 - ② 母校への寄付：50万円
 - ③ 東京での記念式典・祝賀会の開催(喜山クラブを仮予約100人収容可能)
 - ④ 東京同窓会HPの活性化と「会報あがた」全豪の掲載 など
- ・ 東京同窓会の特別基金勘定を活用したい。

(質疑応答)

- ・ (久保田)HPで寄付を依頼しても効果があるのか。また、喜山クラブを使うとコストが掛かる。松本への参加者も多いので、90周年の時のように複数個所で20-30人が集まれるようにした方がコミュニケーションも取りやすくなるのではないか。
- ・ (三澤)90周年と100周年では節目の違いが大きいです。90周年の時は松本に集まりましょうということで、東京から90人動員しましょうとして、50人ほどが松本に行った。世界同時乾杯のイベントもあり、東京でも4か所の会場で約110人が集まった。今回はフォーマルな形で東京同窓会を行いたいということで企画した。アルカディア市ヶ谷は、当日は既に予約が入っていた。松本との連携を図りながら、松本で山崎貴監督の講演も聞けるように考えた。「担当委員会」は案の段階、出来れば皆さんにご協力を頂きたい。今日は、方向性を決めて頂きたい。

- ・（久保田）100周年と違ってよいが、もっと皆がフランクに交え合えるようにしたい。そのためには少人数の会場で和気藹々と話し合えるのが良いと思ったが、そういう要素が入れば良い。
- ・（二木）東京会場には、「どういう人に来て貰いたい」から「どうするんだ」という所をクリアにした方が良い。同期に聞かれたときに、なんで喜山クラブに集まるんだというのが答えられるようにして欲しい。松本側で何をやるのか、YouTubeの中継をやるという話も聞くが、そうであれば喜山クラブまで行く必要はなくなるかもしれないし、分散会場の方が良いかもしれない。そこを整理してクリアにすると、議論が分散しない。そういった観点でディスカッションに加わりたい。
- ・（久保田）HPからの発信については、アクセス数が少ないと効果がない。
- ・（三澤）HPからだけの発信ではなく、色々な方法を組み合わせて実施すれば良い。
- ・（二木）HPは、どういう風に何をやるから、どうアプローチしていくかという話です。いま濱田さんがHP管理委員長になってからアクセス数が分かるようにした。いま、何もない平和な時で、1日10人位。懇親会等のイベントがあると激増して1日100人位になる。せっかく良いツールがあるので上手く活用していくことを考えたい。
- ・（濱田）HPを見てる人がどのくらいいるか、影響力がどのくらいあるかも大事だが、HPだけに頼るのは危険だと考えている。新しい人を開拓するという意味では、FBやツイッターなども併用して使用することで拡散力は飛躍的に高まる。いろいろなツールを駆使する工夫をしていきたい。9/30日は今日の案をベースにしてフォーマルで実施する一方で、別にフランクに集まれる要素を取り込むことも大事だと思う。同日か翌日にプラスアルファで実施する方法もある。記憶と記録に残る会にしていけたら良いと思う。
- ・（荒木）私は松本の祝賀会場にいきたいと考えている。半分くらいは松本に行く人もいるのではないかと。皆が一堂に集まれるのであれば喜山クラブでも良いし、分散して集まれる場所を探すのも良いと思う。幅広く進めて行ったら良いと思う。

※ 質疑応答の結果、本日の提案をベースに検討を進めて行くことが、全会一致で承認された。
今後、松本側の準備・企画内容を確認しながら詳細を詰めていく事とする。

(3) 縣陵レディース委員会行事開催の件

（衣袋縣陵レディース委員長が添付資料3に基づき報告）

- ・「隅田川テラスウォーク&水上バスで浅草～浜離宮」を企画
- ・開催日：10月22日（土）、定員50名、参加費：女性500円、男性・同伴者1,000円
- ・9月10日頃にHPへ掲載予定

※ 質疑応答の後、全会一致で承認された。

(4) 会則・運営細則の改定について

- ・久保田会長より提案趣旨の説明

総会の時にもお話ししたが、会則・運営細則を皆で話し合っで見直しをしたいと考えている。会則・運営細則はあるが浸透していない。もう少し多くの方に理解して頂くために、一つずつチェックしていきたい。

例えば、副会長の人数はどのくらい必要か、委員会のそれぞれの役割はこれで良いのか、他にやることはあるのか、削るところはあるのか、などを見直していきたい。是非、代表幹事の皆様のご協力を頂きたい。

- ・三澤幹事長が、資料4に基づいて説明

- ① 会則・運営細則の改定は令和6年6月総会での議案提出を目標とする。
- ② 改訂作業は遅くとも令和5年12月には終了し、4-5月の会報あがた発送時に、新会則・運営細則（案）を同封することとする。
- ③ 各委員会にて ZOOM 会議を開催し、必要に応じ関係者も加わり検討する。
直近の会則・運営細則等の内容を理解することから課題を見出す。
各委員会において現時点で抱えている課題を整理すると共に、将来生じる課題について討議の上、解決策を見出す。
- ④ 検討した解決策を反映させた新たな会則・運営細則の修正案を作成する。
- ⑤ 全体の進捗管理は百瀬総務委員長兼幹事長補佐を中心に進める。

（質疑応答）

（二木）内容は賛成だが、会則・運営細則の見直しの前に、諸課題の洗い出しと検討が必要だ。

（小林）経費の精算の際に直接お会いできないので、支払に多くの手数料が掛かっている。次期会計委員長の清水さんへの引継の準備をしている。会計用の PC を購入したので、台帳管理や P C に貼るシールも用意していただきたい。

（佐藤）若手 12-13 名出席した際に、彼らに会報を発送するのか確認してデータを入手することに成っていたが、フォローしているか。（同窓会の名簿に登録することの確認）

➔（森本）申し訳ない。出来ていない。直ぐに確認してフォローする。

（三澤）若手をどう増やしていくかが課題。二木さんや濱田さんの後任が出来るような人を増やしていきたい。6年委員会は、実行委員会をやったメンバーに入ってもらい、どうやって同窓会活動に関心を持ってもらうかを目標にして作った。

（久保田）二木さんの意見が全て。会則・運営細則の変更は、全て低調気味な同窓会をどう盛り返していくかの課題が根本にある。どうやって若い人を集めるのかは6年委員会だけでなく、同窓会全体が考えて行かないといけない。同窓会の位置づけをどういう所に置くかが重要になってくる。これらを話し合いながら考えて行きたい。

※ 先ずは、現状の課題の洗い出しと若い会員をどう集めるかの検討から進める。

※ そのうえで、上記の方針とスケジュールで会則・運営細則の見直しを進めていく事を全会一致で承認した。

※ 全体の進め方については、改めて、百瀬総務委員長が久保田会長・三澤幹事長と相談したうえでご連絡する。

3. その他

(1) 三澤幹事長から、100周年の募金状況についての報告があった。各回期に寄付の未実施者への声掛けをお願いする。

(2) 次回の合同幹事会は、9月24日（土）の予定

以上